

新規事業採択時評価結果（平成16年度新規事業化箇所）

担当課：九州地方整備局都市・住宅整備課
 担当課長名：栗田 泰正

事業名	御所下和田名線		事業区分	街路	事業主体	鹿児島市
起終点	自：鹿児島県鹿児島市東谷山二丁目 至：鹿児島県鹿児島市慈眼寺町			延長	2.7km	
事業概要	JR指宿枕崎線限度額立体交差事業はJR指宿枕崎線の谷山駅付近～慈眼寺駅付近の約2.7kmにおいて鉄道を高架化することにより15箇所の踏切を除却し、都市内交通の円滑化を図るとともに、分断された市街地の一体化により都市の活性化を図る事業である。					
事業の目的、必要性	鉄道高架化事業は、JR指宿枕崎線による市街地の分断、交通渋滞、踏切事故等の問題を解決するとともに、周辺の面整備事業と一体的に施行することにより、都市基盤の整備が図られ、谷山地区全体の発展に大きく寄与するものである。					
全体事業費	148億円		踏切交通遮断量	11万台時/日		
費用便益分析結果	B/C	1.8	総費用	117億円	総便益	209億円
			事業費	117.2億円	走行時間短縮便益	186.5億円
			維持管理費	0.1億円	走行費用減少便益	10.9億円
					交通事故減少便益	11.0億円
					高架下利用便益	0.7億円
基準年	平成15年					
感度分析の結果	交通量変動：B/C=1.9（交通量+10%） B/C=1.6（交通量-10%） 事業費変動：B/C=1.6（事業費+10%） B/C=2.0（事業費-10%）					
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> 円滑なモビリティの確保（現道における踏切交通遮断量10,000台時/日以上踏切の除却） 都市の再生（市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり） 個性ある地域の形成（鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する） 安全な生活環境の確保（自動車交通量1,000台/12hかつ歩行者交通量100人/日の歩道の無い区間に歩道が設置される） 他17項目に該当（定量的評価項目を含む）					
関係する地方公共団体等の意見	谷山地区のJR軌道の連続立体交差化の実施を求める決議（鹿児島市議会 平成8年6月） 鉄道高架化の実施について早期実現の要望（谷山駅周辺地区まちづくり協議会 平成11年2月）					
事業概要図						

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。